

議 事 録

- 1 会議の名称 平成26年度第1回水戸市都市交通戦略会議
- 2 開催日時 平成26年7月29日(火) 午前10時00分から午後0時30分まで
- 3 開催場所 水戸市国際交流センター 多目的ホール
- 4 出席した者の氏名
- (1) 委員 金 利昭
(名簿順) 熊澤 貴之
齋藤 道法
宮本 満
任田 正史
廣瀬 貢司(代理)
荒川 安男
寺門 勉(代理)
澤畠 政志
鬼澤 秀通
大関 茂
米倉 彩乃
根本 貴彬
野原 香里
外川 和彦
松沼 宏明(代理)
西野 賢一
小泉 恵三
肥高 孝之
遅澤 隆夫
秋葉 宗志
潮田 修一(代理)
石井 秀明
大久保 博之
- ※代理出席4名, 欠席1名
- (2) 事務局 【市長公室 地域振興課】
課長 川崎 幹男, 技正兼課長補佐 太田 達彦,
副参事兼課長補佐 須藤 文彦, 地域開発係長 川俣 和彦,
地域開発係 主事 小林 健典, 主事 森 敬之
- (3) その他 水戸市長 高橋 靖

5 会議次第

- (1) 水戸市都市交通戦略会議について
- (2) 議事
 - ア 議案第1号 水戸市都市交通戦略会議規約について
 - イ 議案第2号 役員の選任について
 - ウ 議案第3号 平成26年度事業計画について
 - エ 議案第4号 平成26年度予算について
- (3) 水戸市の公共交通の現状について
- (4) 意見交換
- (5) その他

6 配布資料

- (1) 平成26年度水戸市都市交通戦略会議資料
- (2) バス交通実態調査報告書

7 内容

| | |
|--------------------|---|
| 事務局 各委員 水戸市長 | <p>※設置後初めての会議となるため、事務局が進行を務めた。</p> <p>1 開 会</p> <p>[開会のあいさつ、会議設置の趣旨等について説明]</p> <p>[設置後初めての会議となるため、自己紹介]</p> <p>【水戸市長あいさつ】</p> <p>水戸市都市交通戦略会議の委員をお引き受けくださったこと、また、本市の公共交通行政をはじめ、様々な行政活動にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼と感謝を申し上げます。</p> <p>本市では、本年度から水戸市第6次総合計画をスタートさせ、これまでの拡散・拡大型のまちづくり施策から大きく舵を切り、コンパクトシティの構築に向けた施策を推進している。</p> <p>これまで本市の公共交通施策は事業者任せであったという反省点もある。幸い、本市は交通事業者、関係者等のご尽力により、他市町村に比べて豊富な公共交通の資源を保有しているが、将来を見据え、現段階から皆様と協働し、公共政策として、公共交通施策の充実を図るべきと考える。</p> <p>国においても、昨年度交通政策基本法を制定し、行政、交通事業者等の責務、市民等の役割を定め、その連携、協働に努めるよう求めているところである。</p> <p>公共交通に深く関わっている皆様から忌憚のない意見をいただき、先進的な施策を、来年度策定予定の水戸市公共交通基本計画に盛り込んでいきたい。</p> <p>本市は、現在中心市街地活性化基本計画の策定に取り組んでいる。中心市街地エリアでは、今年度から企業にインセンティブを与える制度を定め、成長性のある企業の立地促進を図っており、これには中心市街地における土地の低層利用を防ぐねらいがある。低層利用が進めば駐車場が過剰</p> |
|--------------------|---|

| | |
|-----|--|
| | <p>に増加する傾向にあるので、適正な駐車場環境づくりと自動車利用の見直しを視野に当該施策を推進している。</p> <p>このように、本市は、中心市街地活性化という視点からも公共交通体系のあり方について検討しているところである。皆様にも広い視野から、公共交通施策に係る提案をしていただきたい。</p> |
| | <p>2 水戸市都市交通戦略会議について</p> |
| 事務局 | <p>[別紙資料1～3ページに基づき、水戸市都市交通戦略会議の設置目的、設置根拠、所掌事項、委員の構成及び任期、運営方法について説明]</p> |
| | <p>【意見、質問等】</p> |
| 委員 | <p>本会議の所掌事項は、公共交通だけか。または、広く「交通」という視点から公共交通を捉えていくのか。</p> |
| 事務局 | <p>最終的には広く都市交通全般を扱うが、まずは水戸市公共交通基本計画策定に向けた取組を戦略的に推進していくこととしたい。</p> |
| 委員 | <p>ウェイトは水戸市公共交通基本計画の策定であるが、都市交通、まちづくりを含む広い視点から施策を考えていくこととしてよいか。</p> |
| 事務局 | <p>仰るとおり、そういった広い視点からご意見をいただきたい。</p> |
| | <p>3 議 事</p> |
| 事務局 | <p>[議案第1号 水戸市都市交通戦略会議規約について説明]</p> |
| | <p>【意見、質問等】</p> |
| 委員 | <p>役員選任までは仮議長を選任し、議事を進行するのが一般的と考える。また、正式な議事録を残すのであれば、議事録署名人の選出が必要ではないか。</p> |
| 事務局 | <p>今回は、役員の選任まで、仮議長の職務を事務局で代行させていただければと考えている。</p> <p>また、ご指摘を踏まえて、議事録署名人2名を後ほど選出させていただくこととしたい。</p> <p>他の質問等はなく、<u>議案第1号は原案のとおり決定した。</u></p> |
| 事務局 | <p>[議案第2号 役員の選任について説明]</p> |
| 委員 | <p>事務局に一任することとしたい。</p> |
| 事務局 | <p>事務局といたしましては、金様に会長を、熊澤様に副会長を、澤島様及び大関様に監事をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>委員からの異議はなく、<u>議案第2号は事務局案のとおり決定した。</u></p> |
| 会長 | <p>【会長あいさつ】 水戸市長のあいさつを聞いて、水戸市の公共交通に対する意気込みを確認できたことを嬉しく思う。 交通まちづくりにおいては、道路状況や様々な交通手段を検討することが必要である。水戸市の交通まちづくりについて皆様と一緒に考えていきたい。</p> |
| 副会長 | <p>【副会長あいさつ】 環境空間について単体の建築物、公共施設を良くしたとしても、そこに至る移動手段を確立しなければ賑わいは広がらない。賑わいの創出や歩いて楽しいまちづくりに大きく寄与するのは都市交通である。皆様と協力し、考えていきたい。</p> <p>※水戸市都市交通戦略会議規約第7条第1項の規定により、会長は会議の議長となるため、以後の進行を会長に交代した。</p> |
| 会長 | <p>「議案第3号 平成26年度事業計画」及び「議案第4号 平成26年度予算」は関連した内容であるため、事務局で一括して説明し、審議していただきたい。</p> |
| 事務局 | <p>[議案第3号 平成26年度事業計画及び議案第4号 平成26年度予算について説明]</p> |
| 委員 | <p>【意見・質問等】 専門部会の設置はいつ、どのような専門部会を設置する予定か。</p> |
| 事務局 | <p>事務局では本市における公共交通体系に係る部会、利用促進に係る部会の設置を想定している。本日皆様からいただく意見を踏まえ、第2回会議において、専門部会設置に係る事務局案を提案させていただく。</p> |
| 委員 | <p>専門部会は、本会議の委員をどのように割り振りするのか。</p> |
| 事務局 | <p>役割分担の中で、いずれかの専門部会に属していただく予定であるが、関係性の深さによって、複数の部会に参加していただく場合もある。 その点も第2回会議で事務局案を提示させていただく。</p> |
| 委員 | <p>今年度予算案の内容から、今年度は会議を開催し、議論を中心とすることが分かる。また、来年度から事業を行うこととすれば、今年度中に予算要求を前提とした事業に係る議論が存在するはずであることから、来年度の本会議内容も、会議の開催を中心とするのか。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>今年度は、委員の皆様から本市の公共交通における問題点を挙げていただき、解決策を検討することを主な目標とする。新たな事業の実施に当たっては、交通事業者の皆様のお力をお借りすることもあるため、その妥当性、採算性等について精密な調査をすることが必要と考えている。来年度は、予算を確保し、この調査事業に注力していきたい。</p> <p>他の質問等はなく、<u>議案第3号及び第4号は、原案のとおり決定した。</u></p> |
| 事務局 | <p>4 水戸市の公共交通の現状について</p> <p>[「バス交通実態調査報告書」に基づき説明]</p> <p>【意見、質疑等】</p> |
| 会長 | <p>水戸市内には4社のバス事業者が存在しているが、現在のバス交通体系が構築されるまでの歴史、事業者の住み分け等はどのようなものか。</p> |
| 委員 | <p>かつて路面電車が水戸のまちなかを御前山、大洗方面へ走っていたが、それがバスに変わった。まず通勤、通学の拠点となる水戸駅からのバス交通網が発達した。</p> <p>また、道路構造が水戸駅から放射状に広がっており、特に幹線道路を中心に住宅地が形成されているため、需要に添ってバス路線を設定した結果、現在のように放射状のバス路線網が発達していった。</p> <p>事業者の住み分けというのは存在しないが、それぞれの会社の営業所の所在地等によって、自然と住み分けた状態になったと思われる。</p> |
| 会長 | <p>過去に大きな変革などはなかったか。</p> |
| 委員 | <p>かつては路線バスの運行は免許登録制度であったが、平成12年に道路運送法の改正による規制緩和があり、事業者に参入及び撤退の自由が認められた。</p> <p>既存の事業者の経営を圧迫するような新規参入については、国土交通省は認可をしないこともあり得るが、公共交通利用者の減少に伴い、新規参入の難しい時代であるため、新規参入によるバス交通体系網の変革は少なかった。</p> |
| 会長 | <p>5 意見交換</p> <p>水戸市における公共交通の課題は、「バス交通実態調査報告書」に記載されているが、委員の皆様からも、公共交通の課題等について忌憚のないご意見をいただきたい。</p> |
| 委員 | <p>「バス交通実態調査報告書」を見ると、公共交通不便地域、空白地域の存在がよく分かる。公共交通の充実は「住みやすさ」につながり、水戸市の公共交通が充実すれば転入者が増加すると思われるので、良い公共交通施策が実施できるよう、意見を出していきたい。</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>目的地への乗り換えに係る利便性向上，乗り場や時刻表の表示を分かりやすくすることが必要と考えている。また，通院に必要な路線は特に拡充していただきたい。</p> <p>水戸駅ビルには賑わいが感じられるが，一步外に出ると賑わいが少なくなってしまう点に問題があると感じる。</p> <p>他の組織において，市民からまちづくりについての意見を聞いてみると，マイカー利用の利便性を向上させるために，駐車場環境の整備を求める意見が多く，呆気にとられる。</p> <p>本会議で考える公共交通のビジョンを広く市民に理解していただかなければならないので，そういった組織の考え方との整合を図る必要がある。</p> |
| 委員 | <p>普段バスを利用する機会が多いが，大学へ向かう系統は運行本数が多いため，特に系統番号等を気にせず利用することができる。しかしながら，いざ別の系統に乗ろうとすると，どのバスに乗ればよいのかわからない状態である。</p> <p>乗り換え時に再度初乗り運賃を支払うシステムは問題である。</p> <p>また，既存のバス停は狭く，自転車や歩行者を遮断する形態ではないことから，長時間バスを待つ環境ではない。</p> |
| 委員 | <p>中心市街地の店舗では，マイカー利用者へ駐車場のサービス券を配布することがあるが，公共交通利用者に対するサービスが存在しないため，そういったサービス制度を作るべきと考える。</p> <p>水戸駅からレンタサイクルを貸し出しするのも良いと考える。</p> <p>吉沢町方面から水戸駅に向かう際，多くのバスが北口に向かってしまうため，南口行きに比べて乗車時間が長くなること，運賃が高くなることに問題を感じている。</p> <p>南口へ向かうバスを増やしていけないかと思う。</p> |
| 副会長 | <p>マイカー利用者の移動手段を公共交通へ転換するためには，駐車場の供給量を下げただけでなく，バス利用に対するイメージを変えていくことも必要である。イメージを変えるためには，駅前広場を変えることが有効的と考える。</p> <p>現在の水戸駅北口バス乗り場では，朝のラッシュアワーにおいて，バス事業者がマンパワーで案内を行っている状況にある。</p> <p>駅前広場は，バス待機場に多くのスペースを使用しており，古めかしい形態であると言える。</p> <p>また，水戸市を運行するラッピングバスのデザインは，景観に適していないものもある。</p> <p>こういった点を改善し，バスに乗ることがスタイリッシュであるというイメージを作っていかなければならない。</p> <p>いくつか事例を紹介させていただきたい。</p> <p>岐阜駅北口広場では，歩行者を中心に考えた駅前広場を設計しており，こういった駅前広場がバスのイメージを変えられる。</p> <p>長野駅善光寺口は，市民を交えたワークショップを行いながら設計を進めており，そのワークショップの中で，公共交通利用の浸透を図っている。計画の進め方から市民と関与していくこの手法について注目しているところである。</p> <p>浜松駅北口においても，歩行者及びバスの配分を上手く考えた駅前広場となっている。</p> |

| | |
|----|---|
| | <p>先ほど、委員からバス停留所の改善を求める意見があったところだが、最近では、広告スペースをバス停留所に確保し、広告料を建設費に充てる手法が取り入れられているので、併せて紹介させていただきたい。</p> <p>超高齢社会を迎えるにあたって、健康志向が高まっている。こういった点をアピールすることもイメージ戦略では有効である。</p> <p>利用者の増加は利益の再配分に繋がるという視点も含めて、公共交通のまちづくりを考えていかなければならない。</p> |
| 会長 | <p>委員の皆様には、交通事業者だけでなく、行政も市民も協働して公共交通を育てていかなければならない時代であると認識していただきたい。</p> |
| 委員 | <p>バス事業者にとっても、水戸駅におけるバス系統等の表示の改善は必要と考えている。系統番号を変えていくだけでも相当の費用がかかることであるが、この会議の中で、改善施策の優先順位が高く、その費用負担にかかる協議がまとまるとすれば、改善に向けて取り組む心持ちである。</p> |
| 委員 | <p>マイカー利用者の増加により、路線バスの利用者が減り、減便による利便性の低下を招いてしまう悪循環にある。</p> <p>公共交通利用者を増やすために、皆様の意見を伺いながら、事業者としても取組を推進していきたい。</p> |
| 委員 | <p>かつては路線バスの需要は非常に高かった。事業者のサービスが悪かった点もあるだろうが、マイカー利用者の増加、人口減少により、利用者が減ってしまった現状である。</p> <p>乗客が減ると、コストが高くなってしまうため、路線を維持することが難しく、苦渋の決断ではあるが、廃止、減便を行わざるを得なかった。</p> <p>これからは、交通事業者、行政、利用者が一体となって維持、確保に取り組む必要があると考えている。</p> <p>各委員の意見を踏まえて、事業者もできる限りの取組をしていきたい。一方で、地方のバス事業者は大きな投資ができないという点をご理解いただきたい。</p> |
| 委員 | <p>委員からの意見にあったとおり、バス停留所の状況、時刻表については、確かに分かりづらい状況にあるのかなと感じる。事業者が自社の利益獲得を主な目標としてきた表れと思う。今後改善に向けて協力していきたい。</p> |
| 委員 | <p>水戸市も本腰を入れて交通まちづくりに取り組むので、協力していきたいと考えている。</p> |
| 委員 | <p>30万人以下の都市は個人タクシーの営業活動は道路運送法の規定で禁じられているため、現在タクシー事業者は、法人23社が営業を行っている。タクシーは、水戸駅又は個々の営業所の車庫に待機している。</p> <p>電車の終電に併せて、営業所に戻る仕組みが一般的であるため、なかなか利便性の向上や、利用者の増加を図ることが難しい状況である。</p> <p>介護福祉士の資格を持ったリフト付介護タクシーを運転するなど、タクシー事業者は、様々なサービスを行っている。</p> <p>公共交通の利用者が増加しなければ、タクシーの利用者も増えない。歩いて楽しめるまちづくりと公共交通施策を一体的に行うことが必要である。</p> |
| 会長 | <p>タクシーは鉄道、バス等の補完的役割を持つ重要な交通手段である。</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>公共交通は乗ること自体が目的ではなく、目的地に運ぶための手段である。併せて、魅力的な目的地の創出を図ることも必要ではないだろうか。</p> <p>公共交通について議論していくわけだが、上位計画である水戸市第6次総合計画や水戸市都市計画マスタープラン、策定作業中の中心市街地活性化基本計画に公共交通施策をどう位置付けてまちづくりを推進するのか意識しながら、両輪で公共交通施策を推進していただきたい。</p> |
| 委員 | <p>現在、弊社の利用者は、ピーク時から4割程度減少している。少子化により通学利用が低下する中で、通勤利用、その他の利用者を獲得することが必要と感じている。利便性の向上について、この会議の委員の皆様から意見をいただきたいと考えている。</p> |
| 委員 | <p>本会議は水戸市の公共交通施策を検討する会議ではあるが、県庁所在地であるため、周辺市町村のニーズも踏まえた公共交通基本計画を策定していただきたい。小中学校の統廃合によるスクールバス、コミュニティバス等がバス事業者を圧迫している例があるため、その点に配慮し、競合ではなく補完を目標とした公共交通施策の推進をお願いしたい。</p> |
| 委員 | <p>高齢者対策、飲酒運転の対策に目を向けていただきたい。地元の警察署だけではなく、茨城県警察本部の委員も含めれば議論が活発になると思われるので、ご検討いただきたい。</p> |
| 委員 | <p>2020年の東京オリンピック、パラリンピックを控え、国では、外国人来訪者数2,000万人を目指して、関東地方で一体的に外国人観光客を呼び込む政策を推進している。</p> <p>水戸市にも多くの外国人観光客が訪れる可能性があり、外国人観光客は言葉の壁、空間の壁、地理の壁を持つ交通弱者であるため、外国人観光客にも分かりやすい都市交通システムの構築を目指していただきたい。</p> <p>千葉県のある自治体では、交通弱者の自宅を訪れ、直接意見を伺う手法を用い、本当に有益な公共交通施策を生み出した事例があるので、紹介させていただきたい。</p> <p>様々な事例を踏まえて、良い公共交通施策を検討していただきたい。</p> |
| 委員 | <p>中心市街地の駐車場環境を整備しても、活性化には結びつかないと考えている。各商店の独自性、病院施設の再配置、機能の集積、居住人口の拡大等を図ることが活性化に必要である。</p> <p>海外の事例を紹介させていただくと、欧州の中心市街地における交通モードはトラム、バス、自転車、徒歩が中心であり、オックスフォード・サーカスではバス、タクシー以外の車両を排除している。</p> <p>中心市街地の交通システムとそれ以外の地域の交通システムは分けて考えていくべきである。</p> <p>案内表示に係る共通デザインは絶対に必要と感じており、各社共通のICカードシステム導入についても期待したい。</p> <p>観光客のために、北口から南口への循環バスの創設も提案したい。</p> |
| 委員 | <p>超高齢社会を迎えるため、公共交通施策にも健康づくりという視点は確かに必要である。</p> <p>将来ビジョンに向けた発想を盛り込みつつ、実効性のある計画作りを期待したい。</p> |

| | |
|----|--|
| 会長 | <p>皆様から貴重な意見をいただき、ありがとうございました。第2回会議では、本日皆様からいただいた意見、課題を解決するための施策を事務局から提示していただき、重要施策の抽出、実施事業の検討、各施策について協議する専門部会の設置等についてご協議いただく予定です。</p> <p>本日の会議内容は以上となります。</p> |
|----|--|